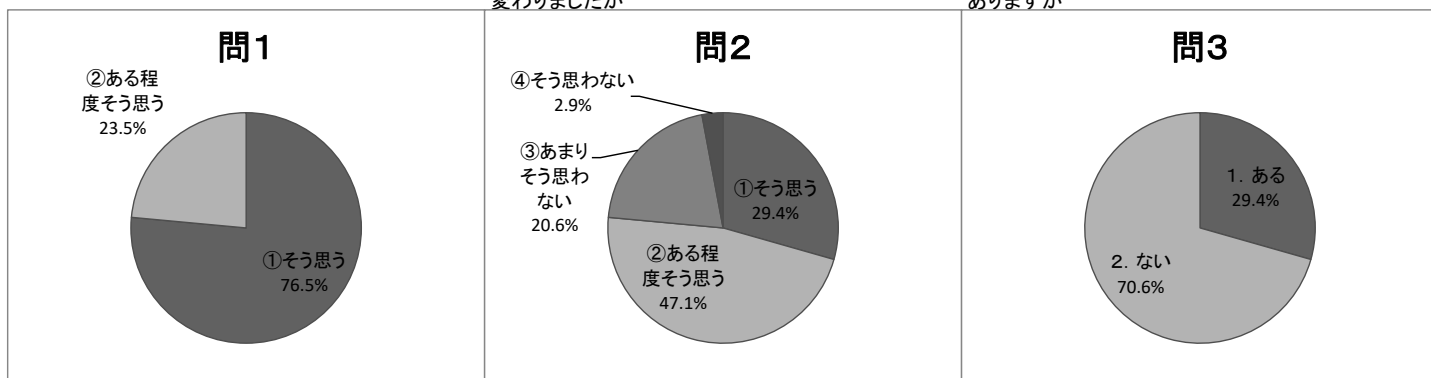


問1 今回の研修は、今後、役に立つ内容でしたか

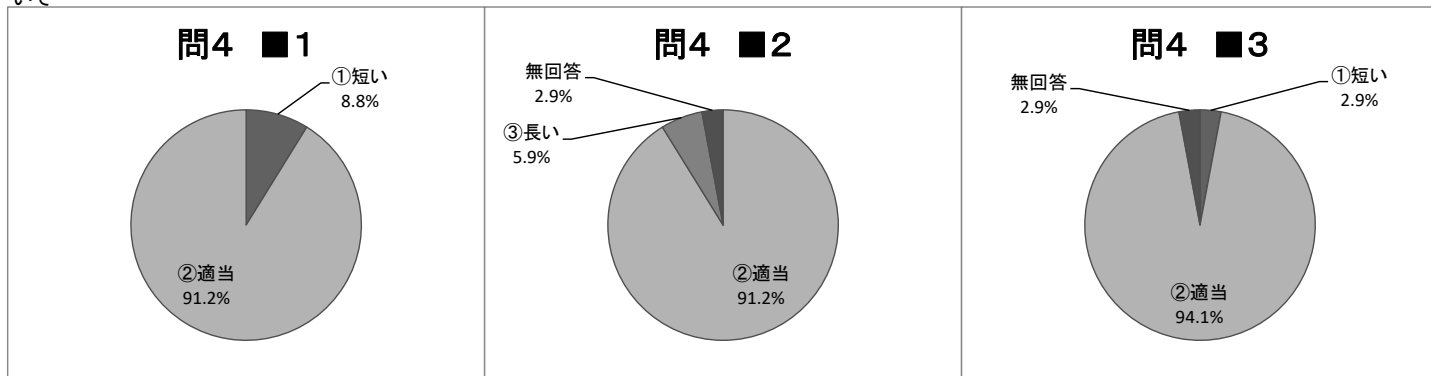
問2 今回の研修を通して障がい者について印象が変わりましたか

問3 今後の障がい者に関する研修について要望はありますか



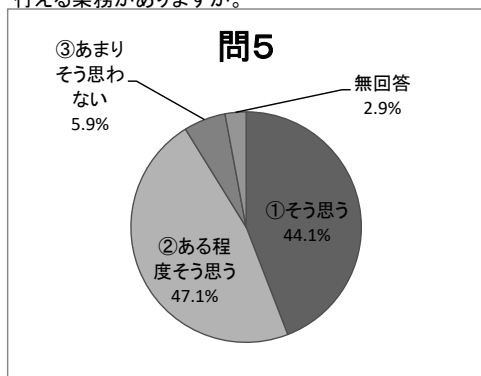
問4 今回の研修の時間は適当でしたか

■1 障害者差別解消法、障害者活躍推進計画について ■2 庁内で働く障がいのある職員へのインタビュー ■3 身体障がいを理解するプログラム



問5 課内に障がい者(会計年度任用職員)の方が行える業務がありますか。

問6 今回の研修の中で一番印象に残ったことをお聞かせください。



- ・障がいのある方の生の声を聞くことができ、記憶にしっかり残る研修だったと思います。
- ・障がいのある職員のインタビューが良かったです。ご自身の適性をしっかり理解し、それぞれの職場で、周囲に感謝しながら活躍されているのが素晴らしいと思いました。
- ・障がいのある職員の話で本人の障がいの特性を聞いたことは、とても良かったと思います。
- ・車いすユーザーの外部講師の話で、一人一人に合った対応が必要だという話が印象に残りました。生の声が聞けて、これからの対応に役に立ちました。
- ・外部講師の方の、市職員への思いや具体的な対応事例、市役所本庁舎のカーベットが車いすでは移動しにくいという話が印象的でした。
- ・「障がい」という概念があまり適した表現ではないのでは？」というお言葉に考えさせられました。
- ・障がい者として一括りにするのではなく、障がいという言葉は本人でなく環境の方にあるのでは、というお話が印象に残りました。
- ・外部講師の方のお話が良かったです。カテゴライズが窮屈という話に共感しました。
- ・障がいのある職員を受け入れる際の、所属の配慮、職員課の調整の概要が分かった。
- ・障がい者を受け入れるために周りが配慮、サポートしているかというのがすごく大きいと思います。障がいに限らず、皆々各々の事情を抱えているのでお互いの理解が大切だと思います。皆がウェルカムな体制ではないと思うので、そこが最大のネックだと思います。当課では、職員の障がいについて共有されておらず、配慮が足りていないのではと思います。